

みなみん学級 4月保護者会資料

1 学校教育目標

～南田中小学校 学校教育目標～

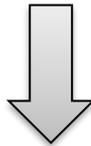
- 考え表現する子 ◎助け合う子 ○がんばりぬく子
学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

2 学級の目標

～みなみん学級 教育目標～

- 自ら考えて行動し、自分の気持ちを自分の言葉や態度で表現できる子
○友達と協力し、仲良くできる子
○思いやりのある態度や言葉を身に付け、自分の役割を最後までやり遂げられる気力や体力のある子

目標実現のために



3 基本方針

<基本方針>

- ①教育活動全体を通し、個々の児童の自立を目指し、そのために必要な知識・態度・技能・習慣を醸成する。
- ②指導内容や指導法の工夫改善を図りながら、一人一人に基礎・基本を定着させ、教育目標の実現を図る。
- ③児童の実態を的確に把握し、個に応じた目標を設定し、毎学期個別指導計画を作成して、家庭と連携を図りながら、有効で適切な指導を行う。

4 目標を達成させるための具体的な基本方針

(1) 自ら考えて行動できるために

基本的な日常生活習慣の確立

- 着脱・食事・排泄・洗面・清潔・入浴・規則正しい生活リズム・登下校などが、一人で行えるようになっていくことが、自立に向けての第一歩となります。そのためには、ご家庭と学校とが連携をして、子供一人一人の実態に応じて、指導、支援をしていくことが大切です。詳しくは、個人面談で話をしていきます。

※個人面談は、例年5月に行われていましたが、今年度の日程については未定です。

決定しましたら、学級だより等でご連絡いたします。

(2) 「仲良くできる子」「思いやりのある子」の育成に向けて

縦割りの班を中心とした生活

- 昨年度の成果として
 - ① 学級内における異学年交流が積極的に行われた。
 - ② 思いやりの心が育った。
 - ・高学年は、低学年のことを考えた言動ができるようになってきた。
 - ・低学年は、高学年へのあこがれや感謝の気持ちを持ち、時には甘えることもあるなど、関わりの広がりが見られた。
 - ③ 高学年児童、低学年児童、ともに、お互いを認める気持ちが育ってきた。
 - ④ 子供同士の人間関係が深まった。
などの様子が見られました。今年度も、縦割りの班を中心とした生活としていきます。

- 保護者の方々と各教員との窓口は、次のようにしていきます。

<ul style="list-style-type: none">・日常生活について・・・生活班担当・学習内容について・・・グループ担当・学年の行事について・・・学年担当	}	一人のお子さんに複数の教員が関わっていますので、窓口が多岐にわたっています。
--	---	--

※ お子さんの生活班については、学校再開後、子供たちと話し合いながら決めていきます。それに伴い、生活班担当教員も決まります。決まり次第、学級だより等を通じて、お知らせいたします。

通常の学級との交流

- 昨年度は、みなみん学級の児童全員が、1、2、5年の児童と交流する場をもつことができました。(リトミック、畑、給食) みなみん学級を、通常の子供たちに知ってもらう良い機会となりました。みなみん学級の子供たちも慣れている場であることから、生き生きと主体的に活動する姿が見られました。
- 通常の学級の6年生児童が、日常的に掃除の時間にみなみん学級に来て、一緒に掃除をしています。主にみなみん学級の子たちに、雑巾がけや机運びの仕方などを教えてくれています。
- 今年度は、3、4年生との給食交流も行います。
(ただし、新型コロナウイルス感染症関係の事態が終息してからとなります。)

(3) 「役割を最後までやり遂げられる気力や体力のある子」の育成に向けて

<気力の育成>

めあて学習の充実

- 日常生活や各行事、宿泊学習の場面等でめあてをもたせ、目標に向かって頑張っていこうという気力や気持ちを育てます。

自分の役割に対する責任感

- 学校内や学級内での自分の立場を意識して、やるべきことは最後まで責任をもって行えるようにしていきます。(係や当番の仕事、委員会の仕事、調理など)
- 言われたことには、素直に「はい」と返事ができることも、大切にしていきます。
- 今年度から、責任をもって学校の仕事を行うという観点から、みなみん学級の6年生児童が、通常の学級の6年生と分担しながら、校旗の上げ下ろしの仕事を行うことになりました。
- 家庭内においても、家族の一員として、自分のやるべきことには責任をもって取り組むことが、責任感を培うことにつながります。

<体力の育成>

運動時間の確保

- 週4時間の体育授業時間の確保。
- 休み時間の確保。(外遊びの推奨)
- 登下校時の歩行。(歩行または公共機関を使つての通学)

食事と運動のバランス

- 何でも好き嫌いなく食べ、適度な運動を行う。
- 一定の生活リズムを確立することが、健康な生活に通じる。

(4) 確かな学力を身に付けるために

習熟度別グループ学習

- 国語、算数、体育、図工の学習では、習熟度別のグループ編成での学習を行います。

宿題の継続

- 家庭学習が習慣となるように、基本的には、宿題を毎日出すようにします。
- 国語や算数は、グループの担当が宿題を出します。
- 日記などは、生活班の担当が見るようにします。
- プリント学習、ノート学習は、児童の実態やグループの学習内容によって、異なります。
- 宿題の〇付けは、必ず家庭で保護者の方が行ってください。間違っていたら、その場で直すようにしてください。学力を定着させるには、大事な取組となってきます。

(5) 家庭との連携について

- 毎日の日課帳、家庭欄は必ず書いてください。
- 子供の様子のさらなる情報共有、情報交換として、日頃の授業参観や面談の実施を行います。

5 みなみん学級独自の学習

畑の学習

- 主に野菜を育てます。四季の移り変わりや、野菜の成長に気付くことで、命や自然を大切にしていこうという気持ちが育ちます。
- 土に触れる機会が少なくなっている昨今、土に触れることで土の温かさ、柔らかさを体感することができます。
- 収穫した野菜は、調理学習で使います。自分たちで育てた野菜を大切にしようという気持ちや、食べる喜びを味わうことができます。

調理学習

(詳しくは別紙の資料をご覧ください。)

- 2回調理・・・主に高学年児童が、自分の班の友達の料理を、責任をもって作ります。
 - 全員調理・・・1年生から6年生まで全員で、調理に取り組みます。
 - 畑で収穫した野菜を使うことも多く、畑と調理の学習は密接に結びついています。
 - 調理を行うにあたり、スーパーに食材の買い物に行きます。お金の学習、野菜等の物の名称や数、重さ、社会の仕組みなど、たくさんの学習内容が含まれています。
- ※ 新型コロナウイルス感染症関係の事態が終息してから調理学習を行います。そのため、1学期は、調理は行いません。2学期以降も、状況を確認しながら調理学習実施の判断をしていきます。

宿泊学習

- 年に2回、1～6年生まで全員で、軽井沢と岩井に宿泊学習に行っています。
- 宿泊で大事になってくるのは、生活面での自立です。自分のことは自分で行うことを目指します。野外でのいろいろな活動では、自然を体いっぱい感じられる活動を行います。
- 宿泊後には、宿泊での生活の様子をご家庭に伝えて、子供たちの生活面での向上を目指していきます。
- 令和2年度は、6月の軽井沢宿泊学習が延期となりました。今後、詳しいことが分かりましたら、お知らせいたします。

6 令和2年度の新しい取組

基礎学力の定着を目指して

書写の時間を設けます。

- 国語の時間割の中に位置づけます。
- 文字（平仮名、片仮名、漢字）を正しい書き順で、正しい字形になるように、丁寧に書く時間とします。
- 文字の学習だけでなく、言語事項を取り上げて学習する時間とします。
- 書写は、硬筆でノートを使用しての学習となります。ノートについては、後ほど、お知らせいたします。

7 その他

<お知らせとお願い>

- 登校時間は、8時～8時15分の間に学校に到着するようにお願いします。
(地区班で登校している児童は8時20分頃になることもあります。8時25分を過ぎたら遅刻扱いになるので、気を付けてください。)
- 図工で使用するスモッグを用意してください。
- 自由帳（白紙のノート）を用意してください。
- 個別指導計画作成と面談の担当は、以下の通りです。
 - ・面談 → 生活班担当が行います。
 - ・重点目標・短期目標・日常生活面の目標 → 生活班の担当が立てます。
 - ・学習の目標 → 各グループ担当が立てます。
 - ・あゆみ（のびゆく子） → 目標を立てた教員が書きます。
 - ・あゆみ（まとめの部分） → 生活班担当が書きます。
- みなみん学級からの保護者会資料の他に、学校からの資料も出ておりますので、よくお読みください。

8 5月7日の持ち物

※体育着・道具箱は、後ほど、連絡します。

校帽・ランドセル・マスク（着用して）・防災頭巾・手紙袋・筆箱・雑巾2枚・課題
うわばき・健康カード・登下校についてのプリント（黄色い紙）・給食袋・歯磨きセット

調理学習について

1 全員調理

①ねらい

- ・自分のできることを行うことで、集団の一員である認識をもつ。
- ・みんなで作ったものを食べることで、調理の楽しさを味わう。

②実施時期と回数

- ・学期に1回の年3回→今年はコロナウイルスのため2回実施予定

③献立

- ・ホットケーキ作り (2学期)
- ・おにぎり、みそ汁作り (3学期)

2 2回調理・・・同じメニューを2回続けて作ります。

①ねらい

- ・自分の役割を最後まで行うことで、責任感を養う。
- ・1回目の経験を次に生かすことで、見通しをもって活動する力を養う。
- ・国語や算数などで学習した教科的な内容を様々な活動の中で体験を通して生かすことにより、実生活に役に立つ知識を身に付けさせる。

②実施時期と献立

(畑の野菜の収穫状況により、献立が変更する可能性があります。)

日程	献立の計画
9月10日	カレーライス
10月8日	カレーライス
15日	肉じゃが
29日	肉じゃが
11月19日	サツマイモの煮物
12月3日	サツマイモの煮物
17日	全員調理 (ホットケーキ)
1月14日	大根の煮物
28日	大根の煮物
2月18日	ふるまい調理
25日	全員調理 (おにぎり)
3月4日	おもてなし調理

③参加児童

- ・基本的には、5，6年児童。

(場合によっては4年生児童の参加もあり得る。)

④家庭での取組

- ・参加児童には、家庭での予習をお願いしています。参加児童だけでなく、下学年の子供たちも全員調理に参加しますし、いずれは、2回調理に取り組むこととなります。先を見通して、お手伝いとして今からできることをやらせておくことも、有効だと考えます。

(食器洗い、食器ふき、米とぎ、野菜の皮むき、切ることなど)

3 用意するもの

調理の時には以下のものを使いますので、用意しておいてください。

①エプロン

- ・自分で身に付けられるもの

※後ろで結べないお子さんには、前で結ぶようにひもを長くするとか、ひもは使わずかぶるだけにするなどの、工夫をしてください。

②三角巾

- ・自分で身に付けられるもの

※後ろで結べないお子さんには、ゴムを使ってかぶるだけにするなどの工夫をしてください。

③マスク

①②③を、名前のついた袋に入れて調理当日に持たせてください。

4 身支度

◎袖口はまくっても落ちてこないような、または袖まくりができる洋服を着るようにしてください。

◎調理の前には、爪が伸びていないか、を確認してください。

5 アレルギー対応

○調理で使う食材や調味料は予めお知らせします。食べられないものがあるときには、お知らせください。

○場合によっては、代替えを持参していただくこともありますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

お米のとぎ方

米とぎについては各家庭のやり方があると思いますが、学校の調理では、以下のような手順で行っています。

1 <米の計量>

- ①大きなボールの中に米を入れる。計量カップ（180ml）を用意する。
- ②計量カップに米を山盛り入れて、箸ですり切りをする。1カップずつ釜に入れる。（正確に計る、という観点ですり切りを行います。）
- ③必要な数だけ、②の動作を繰り返す。（6合なら、6回繰り返す。）

2 <米をとぐ>

- ①水を1回入れて軽くかき混ぜ、水は流す。
- ②米をとぐ。

• 手のひらを時計と反対方向に回して、へその前で力を入れる。（20回）
• 20回 回したら、水を入れてとぎ汁を流す。

 × 3回
- ③米を洗う。

• 水を入れて軽くかき混ぜて、流す。

 × 3回
- ④報告をする。
 - 4回目に水を入れて水が透き通って下の米粒が見えたら、「できました」の報告をする。

3 <米をきる>

4 <ごはんを炊く>

- ①米の計量の時に使ったカップで水を入れる。
- ②水はカップの縁、ぎりぎりまで入れる。このときに、蛇口からの水が入らないように、釜はシンクの外に置いておく。
- ③米と同量の水を入れる。
- ④30分後、または決められた時刻のスイッチを入れるようにする。